

# ほぼ月刊 んだもしたん

(諸県弁の「まあどうした事でしょう」)

## ナップのインスタグラム

今更かも知れませんが、インスタグラム(Instagram)をご存じでしょうか。インスタグラムは、圧倒的な人気を誇るSNSで、世界中で毎月10億人以上が利用しています。若者から圧倒的な支持があり、今では老若男女問わず人気になっております。一昔前はFacebookが主流でしたが、今はインスタグラムがナンバーワンですね！

インスタグラムとは、正式には「インスタントテレグラム(Instant telegram)」を省略した造語とされています。「インスタント」は、「すぐに・その場で」という意味を、「テレグラム」は、「電報」という意味をそれぞれ持ちます。

つまり「インスタントテレグラム(Instant telegram)」とは、「撮影した写真をすぐに電報のように発信する」という意味を持つてゐるんですね。私も調べてみて初めて知りました(笑)。

今回弊社のPRツールとして、インスタグラムの運用を開始しました。これより、Google



NAP\_SHOP\_INSTA (光)

で検索することをググるといつて、色んな情報を得ておりましたが、このアプリではタグるといつて、インスタグラム上で情報を得る表現です。確かに、インスタグラムでタグを付けた投稿が一度に画像や動画として見られて、お店情報や商品等の情報を他者の目線(フォローのコメント)で得ることができ、ネットでは公開されていない情報もあり、活用範囲が広く大変興味深いです。

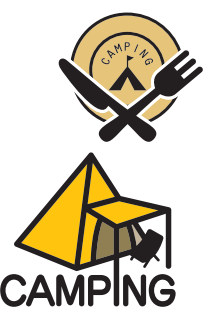
もちろん、当社の商品や最新情報も毎週掲載しておりますので、是非この機会にチェック&フォロー登録してみてください！左のQRコードをスマホでスキャンしてご覧頂けます。宜しくお願ひします。

発行 有限会社ナップ  
編集責任 中田 等  
発行日 令和四年六月  
問合せ先 〇九八五五一七四〇九

今夏公開予定  
劇場版キャンプアニメ

以前、本紙でご紹介させて頂いたキャンプアニメ・ゆるキャン△が、今年の夏劇場版として公開予定です。アニメは一期という区切りで十二話程度なのですが、このゆるキャン△はシリーズ化し続け、ついに劇場版となりました。コロナ禍によって増加したキャンパー(キャンプをする人)にとっては、見たことなくても聞いたことのあるアニメではないかと思ひます。

我が家においては、毎月のネット配信契約で閲覧しておりますが、今ではもっぱら妻がハマっている状態。でも、キャンプはしない。ただ、ただ、世界観に癒されている様です。そんな妻が「前売り券買って来た！」と、とっても前のめり状態です。どんな仕上がりになっているか、私も楽しみに劇場版です。(帖)



## ランチ野郎 見参!

「ジモ・ミヤ・タビ」えびの市で海外旅行気分の巻」  
コロナ禍で旅行に行くのになかなか難しい状況ですが、ドライブも兼ねてえびの市にベトナム料理を食べに行ってみました。



道の駅えびのから京町温泉郷に向かう国道二六八号線沿いに「Vietnamese Food Pho Ha Noi フォーハノイ」があります。

店内にはベトナムの観光ポスターや音楽が流れていて少し観光気分になります。メニューの日本語も少し表現がおかしいところもありますが、牛肉のフォーセット(二五〇円とブンチャー九百円、ゴイクオン九百円を注文しました。牛肉のフォーセットには、牛肉のフォー、揚げ春巻きと生春巻き、サラダ、レタス、それにコーヒーがついてお得なセットになります。レタスは



はビーフンの上に豚の焼肉と野菜を絡めた少し酸っぱい麺料理だそうです。そして、もう一品のゴイクンは生春巻きですが、一本が大きくて食べ応えがありました。ベトナム出身のオーナーが片言の日本語で一生懸命接客されているのが好印象で、自分のフォーセットにはコーヒーが付いており、妻の頼んだブンチャーは単品だったので、コーヒーを頂きました。妻が帰りにインスタ用に店内の写真を撮ろうとオーナーに許可を貰ったら、勘違いをされてオーナーがポスターの前に立ってニッコリ!とても楽し



た。小豆のつぶ餡にバターをのせたおしり餡バターがとても美味しかったです。県内のドライブでしたが、ちよっとした海外旅行気分を味わえました。(大)

# いんちきクライマーが行く! 「市房山のアケボノツツジ」編

ゴールデンウィークに入る初日、西米良村では毎年『山開き』を行っています。米良三山と言われる、天包山・石堂山・市房山を対象として、参加商品にステンレスのマグカップという楽しみがあります。災害やコロナ禍で、中止になる年もありましたが、今年山開きのセレモニーのみ中止して、山登りのあとに役場に寄って申告して参加商品を手もらうという形式で行われました。

参加商品のマグカップは、すぐには締め切らないだろうと、タカをくくって、ゴールデンウィーク後半の子供の日に西米良へ。市房山の五合目登山口へとむかいます。なんとこのことでしょうか。登山口の標識に、大きく張り紙がしてあり、そこには『マグカップ締切ました!』と大きく書かれています。ああ遅きに失した、残念。とはいえ家には、これまでにもらってきたマグカップが何年分もあるのですが、欲張ってはなりません。気持ち切り替えて、標高千七百メートル越えの市房山へ登りましょう。この季節、山頂近くには、淡いピンクの大輪の花弁をもつ、アケボノツツジが咲き乱れている

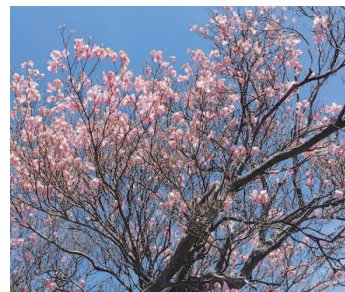


鮮やかなピンクのミツバツツジ

はです。それを見るだけでもテンションは上がります。歩きはじめると、私の前には5〜6人の若い男性グループ。きつと大学生でしょう、テンション高めに笑いあいながらぐんぐんと前を歩いていきます。こっちはのんびりと歩いているので、やがて見えなくなりまし。ところがしばらく進むと、そのグループがバテて座り込んでます。ペース配分がわからないのでしよう、若く体力があっても、山は長丁場の運動です。技術と経験が勝る場合もあるわけです。お先に、と前を歩いていると、休憩して体力が戻ったのか、また追い抜かれてます。この繰り返しで、最後はしぶんと遅れて、私の下山時にバテバテで登る彼らとすれ違いました。



群生が希少なヒカゲツツジ



淡く優しい色のアケボノツツジ

さて、山頂は、そこそこ賑わっており、三十名程度の

登山者がくつろいでいます。想像とおりに、ミツバツツジ、アケボノツツジが咲き誇り、辛さも吹き飛びました。黄色い花弁が特徴のヒカゲツツジなど、普段あまり見ることのできない花が群生していたりと、想定外の楽しみをもらえました。春の山は、サクラにはじまり、ツツジ、シャクナゲと順番に目を楽しませてくれます。一株の花を見るだけでなく、何時間も歩くこともあり、登山とは人それぞれの楽しみ方がある趣味といえましょう。これからの季節、オオヤマレンゲ、ヤマアジサイ、ササユリ、沢山の花が待っています。

(賢)

# チヨースンの楽器が大変でした

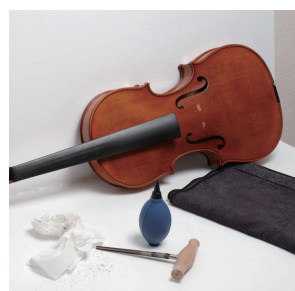
「楽器のカビ・サビくりカバリ」編

三月のある日。作業現場

理工房化しておりました。

「楽器は弾いてるの?」という社長からの世間話から、全然触ってないことや、ケースからも楽器を出してないことを思い出しました。その後久々にケースを開けて見ると、あまりの楽器の傷み具合に絶句状態。大事にしていたはずのバイオリンはわびさびどころか、ニスが塗られていない木面はカビ、弦はサビた楽器に仕上がっておりました。長らく演奏機会もなく、目標演奏会)が無ければ腰が上がらないタイプの私は、ずーっと楽器を放置していたわけです。腕が鈍るのはさておき、楽器をダメにしてしまったことが本当にショックでした。

そのことをきっかけに、楽器の修理を決意し、少しずつ進めることにしました。まず、楽器のカビは交換できるパーツを海外のサイト等から取寄せ。本体の空洞部分はお米で掃除。修理作業は、動画サイトを参考に行いました。GW期間中の自室はちょっとした修



修理風景の一部

(帖)

ウッドショックという言葉をご存じでしょうか。社内でも木工資材の調達時に、値上げの状況に関連して出てくる言葉です。実際、仕事に絡む材料だけでなく、私の趣味の世界・楽器も同じく問題になっていきます。

バイオリンの弓の素材は、長くフェルナンブーコという木材が使われておりました。しかしながら多くの楽器が作られる需要に対して木の育成が追いつかず、また上質なものと高値でも買い取られていくため、ついには入手・製造困難になってしまいました。当然それによって他の木材が採用されたり、新素材の開発から取り組むメーカーもいます。「天然? 養殖?」なんて言葉は食品でも出てきますね。代用品だからダメ!という主張の方もおられますが、常に物事は変化・進化への過渡期にあるのだと思います。

(帖)

# 編集後記